KSRS NEWS Letter

Vol.7
2024.3

教育支援事業



◎講演会の開催

【第10回　KSRS Spine Research】　共催：日本臓器製薬株式会社様
2023年11月29日(水)

＜学術講演＞
座長：北里大学 宮城正行　医師
講師：地方独立行政法人さんむ医療センター 整形外科　医務部長　石川哲大　医師
「骨粗鬆症性脊椎疾患に対する治療戦略と医療現場におけるチームビルディング」

【KSRS Webセミナー】　共催：京セラ株式会社様
2024年3月21日(木) ZOOM



座長①：東海大学医学部付属病院　檜山明彦　医師
演者　：東海大学医学部付属八王子病院 長井敏洋　医師
「後方アプローチ腰椎椎体間固定術で前弯形成を獲得するための工夫」
座長②：昭和大学藤が丘病院 神崎浩二　医師
演者　：関東労災病院 整形外科・脊椎外科 小口史彦　医師
「Bertolotti 症候群の臨床像」

現在計画・進行中の臨床研究

● KSRS臨床研究を開始しています。

KSRSでは、大学病院の垣根を越えた、**神奈川県全体の施設・医師が集う組織であるメリット**を最大限生かし、以下の臨床研究を実施しています。

《実施中》

◎慢性疼痛治療に関する研究に向けた予備調査（多施設研究）
KSRSに所属する医師を中心とし、神奈川県内の医師を対象としてツートラムの使用状況などを集計。
合併症調査により他剤との差別化を明らかにすることを目的とした臨床研究。

◎神奈川県における骨粗鬆症性椎体骨折の治療方針に関するコンセンサスについてのアンケート調査（多施設研究）
OVFの治療方針は術者や施設間において差異が大きく、コンセンサスが得られていない状況である。
→神奈川県内の脊椎外科指導医を対象とし、AO Spine DGOU system に基づいた骨粗鬆症椎体骨折（OVF）の治療方針に関するコンセンサスを得ることを目的とした臨床研究。

《計画中》

◎転移性脊椎腫瘍に対する手術症例の栄養状態に関する多施設研究
転移性脊椎腫瘍の予後予測のスコアは繰り返しの評価が困難である。
聖マリアンナ医科大学本院より、転移性脊椎腫瘍に対する手術症例において術後生存率と栄養状態が相関することが報告されている。
→KSRS先生方の所属している施設を対象に、術前の栄養状態と再手術を要した術後合併症に関する研究や、術後生存率と栄養状態の関係性について、多施設での調査を実施し、より詳細な検討を実施することを目的とする多施設研究。

今後も様々な多施設という特性を活かした有効的な臨床研究を実施して参ります。
ご意見、ご要望のある方は是非KSRS事務局までご連絡ください。

● 令和5年度事業報告

内閣府NPOホームページにて、
法人の情報と事業報告書類一式の内容をご覧いただくことが出来ます。
URL：https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/014004081

公式HP ： https://kanagawa-sekitsui.jp/
X（旧Twitter）：@kanagawa_spine
Facebook ： @kanagawaspine